

フィリピンにおける 廃棄物管理の現状

エリック・O・トーレス
技術者
フィリピン・バヤワン市

フィリピンにおける廃棄物管理の最近の傾向

▶増加する廃棄物の課題に対応するため、**2000年**に環境に配慮した廃棄物管理に関する法律（共和国法**9003**）が制定。自治体が廃棄物管理の主体に。

フィリピンにおける廃棄物管理の最近の傾向

- 廃棄物処理委員会の設立(SWMB)と役割：
 - 新法のもと廃棄物管理計画を策定
 - 民間企業・NPO等の協力の下同計画の実施をモニター
 - 収益を生み出す仕組みを導入
 - 自然体系の保護や公害対策の方策を提言
 - BOT方式 (Build-Operate-Transfer) やフランチャイズ方式など廃棄物の収集・移転・保管・処理・再利用・廃棄などの方法を提言

2004年には109の都市のうち103都市が廃棄物処理委員会を設立したが、有益な結果をもたらした委員会はそのうち49都市（44%）に過ぎない。

フィリピンにおける廃棄物管理の最近の傾向

- 廃棄物管理計画(SWMP)の策定
 - 廃棄物の特徴（性質）を特定
 - 適切な廃棄物収集と運搬
 - 廃棄物処理
 - 根源での廃棄物の減量化
 - 再利用
 - 最終廃棄処分場所

2004年に107都市のうち91都市が、廃棄物管理10カ年計画を策定したが、質の高い計画を策定できたのはうち67都市、特に有効な計画は25都市で、残りの15年は有効な計画を策定できなかった。

フィリピンにおける廃棄物管理の最近の傾向

- ▶ バランガイや都市レベルでの素材再生施設
の設立
- ▶ 生物分解可能なゴミの有機堆肥化
- ▶ 非生物分解性ゴミの画期的な再利用方法の
確立
- ▶ ゴミの各世帯レベルでの分別化
- ▶ ダンプカー、人力三輪車を利用した分別ゴ
ミの回収方法
- ▶ 衛生埋め立て場の建設

課題

- 自治体だけでは有効に対応できない
- 多くの自治体では十分な技術力がない
- 法規制や行政執行に市民教育・啓発キャンペーン等がうまくリンクしていない
- 市民や企業から十分に認知されておらず慣行化していない
- 環境や人に良いものを実施しようとする強い政治的意思がない
- 資金不足のため、全国の2%程度の都市しか衛生埋め立て場が建設できない



終わり

Log On to:

www.bayawancity.gov.ph

Find Out More About Our Projects at:

www.bayawancity.gov.ph/gpmrs

Email Us: jolastorres@gmail.com

Call Us: (035) 531-0020 to 21& 531-0650

Thank you